

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	B
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念は明文化されている。玄関に掲示し、パンフにも記載されている。理念や基本方針、目標があり、子ども一人ひとりを大切に、保護者及び地域社会での期待に応えようとする姿勢が確認できた。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念は、この保育所として「子どもが、最も良く生き、未来をつくり出す力の基礎を培う」ものであり、理念に基づいて保育の基本方針が確立された基盤となっている。26年度以降も施設長以下職員は一人となり、「子どもの最善の利益」達成のための指針とし、各計画に反映されて「子育て日本一を掲げる大垣市」の一翼を担われない。 		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B
	I-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に職員や保護者に説明され、祖父母参観でも知らされている。 ・アンケートで「方針や目標の説明に理解した」が83%あり、保護者は納得されている。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育日誌の最初のページに理念、方針が貼付されているが、これらが、この施設の使命や役割であることを認識された職員の「行動規範」となっているかについては、不明確であり課題を感じる。 ・職員と利用者に対する周知方法や職員園内研修での取り組み方等について、再考を期待する。 		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	—
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	—
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準の考え方とポイントに、「公立保育所については、施設長に与えられた職掌の範囲を考慮した上で評価すること」と明記されている。施設長の責任の下で作成されていない以下の項目は評価できない。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	—
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	—

I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	—
良い点/工夫されている点：	
改善できる点/改善方法：	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	C
良い点/工夫されている点： ・施設長としての役割と責任は果たされ、職員に積極的な指導及び健康状態等に気を配られる等、熱意が伺われた。さらに「子育て日本一を掲げる大垣市」のプロジェクト（研究推進委員会）での責任者として、児童福祉に研鑽されている。	
改善できる点/改善方法： ・本施設に必要な「法、条例、通達」等をリスト化して、施設長自らが正しく理解し認識するための取り組みを実施されていないので、今後に期待し職員で共有されたい。	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	A
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	B
良い点/工夫されている点： ・保育所の役割や社会的責任を遂行するために、専門性の向上に努め、管理者のリーダーシップが発揮されている。職員から信頼があり指導力の確認ができた。	
改善できる点/改善方法： ・施設長として、理念や基本方針の実現に向けた人事、労務等それぞれの視点から常に検証し、業務の効率化と改善に向けた具体的な取り組みを期待する。 ・「子どもの最善の利益」を得るための課題を職員と共に、現在の状況の中で「良い点と不足している点」を明確にして、次年度以降の事業に取り組まれない。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	—
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	—
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	—
良い点/工夫されている点： ・評価基準の考え方とポイントに、「公立保育所については、施設長に与えられた職掌の範囲を考慮した上で評価すること」と明記されている。施設長の責任の下でなされていない以下の項目は評価できない。	
改善できる点/改善方法：	

II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	—
	II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月と2月の年2回自己評価に基づく面接を実施しており、個々の意欲の喚起に繋がっている。保育所の活性化になっていて、各職員の笑顔で確認できた。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考課は全職員が理解し、年度末での成果について面接されるが、職員へのフィードバックで、次年度保育の質の向上に結びつける工夫効果を期待する。 		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
	II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の就業状況や意向に応えた勤務表で、配慮ある体制がとられている。有給消化状況や残業時間等の管理は確実にされている。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間の確保は、園内研修等全職員で検討課題として取り組み、次年度より実施されたい。施設長自らの有給休暇取得で、リフレッシュし職員の活性化に範を示されたい。 		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B
	II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	B
	II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大垣市研究推進委員会が定める保育全般の研修計画で、意義と目的が明示され、本施設もその中で実施されている。職員の目標とする視点が芽生え始めた。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織として、職員の教育や研修に関する基本姿勢、研修体制の明示はあるが、研修後の取り組みに本施設として質の向上になっているか不明確であり検討されたい。教育・研修計画の策定を再構築されたい。 		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	II-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長は「次世代の人材育成」の認識は十分されているし、基本姿勢は示されている。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ側として、マニュアル（受け入れ窓口、意義、日程基準、オリエンテーション、担当職員、事故の対応等）がないので、早急に作成されたい。 		

II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	A
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルが整備され、計画的に訓練を実施している。 ・感染症の発生時には、玄関の掲示板に病名や感染者数等を表示するとともに、予防策も保護者に知らせている。 ・月2回「命を守る訓練」を実施するなど、危機管理の体制が整備されている。 ・災害用として園児数の3食分が保管庫に保管しており、「食品・飲み水・食器」が1回目2回目3回目と区分され、誰でもマニュアルで対応できるよう明示してある。 ・アンケートで「安全・安心の取り組みは十分取られていると思う」が80%あり、保護者からも評価されている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断を早く受診されたい。 ・地域の警察や自治会と連携を取って訓練をするのも今後の課題である。 		

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	B
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域性を活かした保育を計画し、梨畑見学・さくらんぼ狩り等地域の方に支えられた実践交流をしている。 ・年1度地域の自治会を招待し、「ありがとうの会」と称して園児と触れ合い活動をしている。 ・住宅街と隣接しているため、地域との触れ合いを常に心がけ、園行事前になると「こんな行事をいたしますので参加してください」と声かけをしている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育について検討されたい。 ・ボランティア受け入れのためのマニュアルが検討課題である。 		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	A
II-4-(2)-②	関係機関との連携が適切に行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大垣市の組織のなかで関連組織と連携が作られており、職員にも周知されている。 ・市や関係機関、団体と定期的に連携を取り合い、必要に応じて巡回指導を受けている。 		

改善できる点/改善方法：

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	B
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「近隣の方に園児の送迎で迷惑を掛けている」からと、朝夕登降園時に道路で主任保育士が交通整理を実践している。 ・交通整理で地域との交流が一層深まり、珍しいものがあると差し入れしてもらえる等地域交流に役立っている。 ・行事が近づくと、自治会に知らせたりしているが、特に運動会では観覧席を設け招待している。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育事業、子育て支援の相談事業、園庭開放等の事業が検討課題である。 		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が保育計画を通して、一人ひとりの子どもの実態に合わせた保育に心がけている。 ・園でのプライバシー保護は、情報セキュリティ自己管理シートを核に全職員で取り組んでいる。 ・朝礼時に口頭で一日の行事や気をつける事を伝達し、参加していない職員には必ず朝礼ノートを見ることを徹底している。 		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に無理のない程度に行事を計画している。 ・普段から話しやすい雰囲気を大切にし、保護者の意見に耳を傾け、改善するところは、できる範囲で行っている。 		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園時保護者には「どんなことでもお気軽に相談して下さい」と説明し、クラスでも同様に話し、保護者の意見を伺う事の大切さを職員にも常に徹底している。 ・玄関には意見箱やいつでも安心して子育て相談ができるようにと、各相談機関の連絡先が掲示されている。 ・25年度は苦情が2件あり、すぐに改善されている。
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアルの整備をされたい。

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B
Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の自己評価は年2回実施され、施設長の面接も同時に実施している。 ・年度当初に個人目標を定め、前期後期に評価と反省を記載している。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育の質の評価」は、個別の子どもに対するものでなく、組織的な対応を求められる全体としての改善課題の発見と対応を指す。Plan（計画）、Do（行動）、Check（確認）、Action（改善・処置）のPDCAサイクルを継続して実施されたい。 	

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A
Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内研究会での公開保育を通して、全職員が研鑽をしている。 ・毎年人事異動があり、年度当初に他園での情報と比較がされ、サービスの改善がなされている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準的な実施方法には、基本的な技術に関するものだけでなく、実施時の留意点や子どもや保護者のプライバシーへの配慮、設備等保育所の状況に応じた業務手順等も含まれ、保育所全般にわたって文書化がされていることであり、今後の検討課題とされたい。 	
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	B
Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B
Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの記録は、日誌や個別記録、月案、指導要録などで記録されている。 ・全職員が子どもの様子やエピソードなど気が付いたことを附せん書き、職員室のボードにクラスごとに貼り、担当の保育者が個別の記録に記載しているなど、一人ひとりの園児の発達段階や目標が明確にされている。 ・管理上の記録と保育上の記録を区分し、週案に毎日の子どもの姿を記録することで一人ひとりの発達段階や目標を明確にし、記載する職員で記録内容や書き方に差異がないように工夫している。
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に一回園内研修を行い、子どもや保護者の状況支援のあり方などを話し合っているが、問題があるケース検討会になりがちなので、一人ひとりの子どもの状況について話し合うためのケース会議を今後検討されたい。 ・子どもの状況等に関する情報とは、子どもやその保護者、家庭や居住する地域の状況、保育の実施にあたり留意すべき事項、実施に伴う状況の変化、アセスメントや指導計画の実施状況など、子どもに関わる日々の情報全てをいうので、子どもの状況等に関するマニュアルを定められたい。

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページで園紹介や保育内容を掲載したり、園案内を市の窓口に置き、誰でも見られるようになっている。 ・見学希望者には、いつでも施設長または主任保育士が対応し園紹介をしている。 ・入園説明会では、施設長が資料を基にスライドで分かりやすく説明し、見学・体験希望者にはその都度対応している。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転園する幼児については、指導要録と健康の記録を転園先に送付され、乳児については電話で伝え保育の継続性に配慮している。 		
改善できる点／改善方法：		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスや保育所の変更を行う場合、子どもへの保育の継続性を損なわないような配慮のもとに、引き継ぎや申し送りの手順、文書の内容等の取り組み方が検討課題である。 		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の様式を使い、保護者には未満児「児童票」「生活調査票」、幼児「幼児調査票」「保健調査票」にそれぞれ記入してもらい、子どもや保護者の状況を正確に把握され、ニーズを明らかにしている。 ・状況が変化する場合があるため、子どもの現状と課題を期ごとに分け、定期的な評価および見直しをされている。 ・アレルギーと肖像権についての調査を行い、個人懇談を通してアセスメントを行っている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所前、入所後に誰がいつアセスメントを実施したか、入所前の状況と入所後の違いが生じた場合に、どのような手順で対応されたか等の記録の裏づけがなされていない。 		
<p>Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。</p>		
Ⅲ－４－（２）－①	サービス実施計画を適切に策定している。	A
Ⅲ－４－（２）－②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児は市の様式を使用し、年度当初各担当が一人ひとりの状況と願う姿を記入して、施設長、主任保育士が確認し、子どもの発達過程を考慮した上で必要に応じて指導している。 ・子どもたちの遊びの様子や心の育ちなど、一人ひとりの成長過程を週案や月案に記載することで、日々の保育を振り返る場となっている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに対する保育の質の向上を図るためには、作成した指導計画について、今後PDCAのサイクルを継続して実施されることが課題である。 		

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育課程表に大きな字で、保育理念や子ども、家庭、地域の実態などがまとめられており非常に分かりやすい。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しの必要性にも気づかれているので、その見直しを具体化されるよう期待する。 	
Ⅳ－１－（２） 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりについて指導計画が立てられている。保育室に敷かれた畳が、角がないようになど安心安全に留意されている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児に対する環境については、まだとり残されている整備の具体化を検討されたい。 	
Ⅳ－１－（３） １・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午睡後の着替えや布団たたみを、５歳児が手伝うなどの経験を通し、異年齢の発達段階の応用が活かされている。 	

改善できる点／改善方法：	
IV-1-(4) 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
良い点／工夫されている点： ・保育の質を高めるため、1ヶ月1回の園内研究会が行われている。家族のプロフィールやわが子への願い、問題点の経過、そしてその考察という研究記録で確認できた。このような観察によって、年齢に応じた保育の成果と課題が明確にされると期待できる。	
改善できる点／改善方法：	
IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	B
良い点／工夫されている点： ・小学校と近隣の幼稚園や保育園の職員が年3回集まり、情報を共有する連携協議会が開かれている。 ・障がい児については、保護者や保育園が大垣市作成のスマイルブックに、日頃の子どもの様子を記入し活用されている。	
改善できる点／改善方法： ・小学校への入学が円滑に行われるよう、交流の機会を増やされたい。	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： ・園内に多くの創意工夫がみられ、明るく元気という空気が流れていた。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： ・「今日はいくつとべた？」という園児からの問いかけで、なわとびの跳べた回数を記入する表をつくり、園庭に向かった教室の外にかけられていた。保育者は指導技術を子どもたちから学んでいると爽やかであった。 ・外部講師を招き、年8回の体づくりに関する遊びを実施している。「5歳児は逆上がりができるように」などの目標を立て、全職員の共通意識となるための努力がみられる。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： ・どこでもドア遊びという異年齢の交流を目的とした時間がつくられている。 ・訪問調査時の朝、子どもたちののびのびとした姿をみることができた。相撲をとっている子、滑り台で遊んでいる子、人形で遊んでいる子、室内で踏み切りの信号を作っている子、粘土遊びをしている子、小さい自動車にまたがって遊ぶ子など、園庭が最大限に活用されていた。 ・保育者たちも、つかず離れずの見守りであった。	
改善できる点／改善方法：	

IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産物である梨の成長や収穫を通じての地域交流があったり、保護者から提供された沖縄のバナナが玄関の天井からぶらさげてあったり、花瓶に活けられた草木の葉の裏に5ミリくらいのかたつむりがいたり、好ましい環境であった。 	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポルトガル語を使う子どものために各部屋の名称が日本語とポルトガル語で書かれていた。 	
改善できる点/改善方法：	
<ul style="list-style-type: none"> ・本棚のカーテンのなかに塵埃を見受けた。定期的な清掃をされるよう望みたい。 	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士が年間を通して子どもの言動とそれに対する保育士の関わりを記録されている。 	
改善できる点/改善方法：	
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークな発想が多々見られるので、自己評価が自信となって職員一人ひとりの個性が更に育ち、その能力が子どもたちへの還元につながるよう期待する。 	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁止語や指示語を使わないようにされている職員間の取り組みがみられた。 	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	B
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の園庭でのびのびと遊ぶ子たちのなかで、突然、道具の取り合いを始めた子がいた。なにげなく近寄られた先生が加配の保育者で、すこし問題を抱えている子について円滑な生活が送れるよう、1対1の支援をされているようすが確認できた。 	
改善できる点/改善方法：	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を大切にしながら、保育所全体の連携について定期的に見直しを図られるよう期待する。 	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	B

良い点／工夫されている点：
改善できる点／改善方法： ・保護者との連携を密にし、保育所全体で話し合う場を持たれるように期待する。

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2- (1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	A
良い点／工夫されている点： ・朝礼時に、子どものけがの報告や改善点について話し合われている。	
改善できる点／改善方法：	
V-2- (2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	B
良い点／工夫されている点： ・食事のマナーやお箸の持ち方などは、知っているといないでは、その人間性に大きな影響をもたらすと思う。そこに気づかれていることを高く評価する。	
改善できる点／改善方法： ・参観日などに、保護者とともに考えられるような機会を持たれたい。	
V-2- (3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	B
良い点／工夫されている点： ・調理員も子どもたちと食事をとり、食事の様子を確認されている。	
改善できる点／改善方法： ・市の管理栄養士による年数回の訪問を期待したい。	
V-2- (4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	B
良い点／工夫されている点： ・保護者への結果の伝達等に取り組まれている。	
改善できる点／改善方法： ・保護者としての自覚がまだ育っていない親の存在も考えられるこの時期は、迷いも生ずると思われるが、一層の支援を期待したい。	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3- (1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果
	A
良い点／工夫されている点： ・主治医の指示のもとにある。朝礼の場で全職員の確認が図られている。	
改善できる点／改善方法：	

V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	B
良い点/工夫されている点：	
改善できる点/改善方法： ・食べるものを扱うところで、比較的、担当職員に任せられているようであるが、できる範囲で衛生面の内部職員チェックが行われたい。	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	B
良い点/工夫されている点： ・園の玄関に、その日の給食メニューや季節の食材に関する職員手作りの資料が展示されている。	
改善できる点/改善方法： ・職員から、年齢によって変わる摂取量の展示についてアイデアが出されている。工夫と実現に向け、検討されることを期待する。	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	B
良い点/工夫されている点： ・小規模園の特性を発揮し、子ども一人ひとりが居心地のよい保育環境になるよう努めている。	
改善できる点/改善方法： ・駐車場が小さく大変であることを自覚されているので、送迎の機会を利用した保護者との連絡方法については安全への更なる注意を喚起したい。	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	B
良い点/工夫されている点： ・月1回程度の保育参加と学期ごとの保育参観が行われ、年間行事も多い。 ・保護者の参加率も高い。	
改善できる点/改善方法： ・その成果について、全体的な反省と検討を常に持たれたい。	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	B
良い点/工夫されている点： ・遅い登園の子には連絡をとり、母親を励ますなど、虐待の恐れがないかその発見にきめ細かく対処されている。	
改善できる点/改善方法： ・虐待の予防や養育に関するマニュアルを整備されたい。	

評価対象VII 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

VII-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	A

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登園後の施錠はもちろんのこと防犯カメラでの確認をしている。 ・不審者情報などは、警察からのメールが届き次第全職員に周知徹底している。 ・園の出入り口は、必要時以外は施錠し、不審者の侵入防止に努めている。
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親子体操」、「給食参観」、「一緒に作ろう」等親子で参加する行事を年間で知らせている。 ・保護者が降園時に早く迎えに来て、保育の様子を参観している。 ・先生の保育園活動を楽しくすることで、子どもも楽しい園生活になるという気持ちを、全職員忘れず保育している。 ・主任保育士が朝夕交通整理にあたり、毎日地域の人たちや保護者と挨拶を交わしたりすることにより、「命を預かる」「触れ合う」を肌で感じ、保育しやすい環境への意識が感じとれた。 ・アンケートで「行事日程等が配慮されている」が95%あり、保護者が参加しやすいように配慮されている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会が自主的に活動できるよう部屋を開放している。 ・保護者会の要望については、全職員に周知し理解を得ている。 ・園庭の狭さが園の良さでもあり、運動会もみんなが楽しくでき、保護者会からも好感が持たれている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会組織については、役員のみ依存するのではなく、保護者各自が意見を述べられるよう再考を期待する。 	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小学校校区連携協議会に参加し、行事や教育課程、保育課程の情報交換をして共通理解をしている。 ・定期的に保育園、幼稚園、小学校が集まり、連携協議会を開催し、各園の子どもの様子を具体的に知らせたり、小学校の先生も夏休みを利用して、保育体験を実施するなど、子どもたちがスムーズに小学校へ移行できるようにしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	